

教えて! 市立病院



【今月のドクター】
院長
ながおか あきら
長岡 明 医師

Q 開院して5カ月経ちました。院長としての感想をお聞かせください。

A 新病院開院から5カ月経ち、落ち着いて診療が行えるようになっております。
旧病院の解体、駐車場の整備が完成するのは今年12月の予定です。利用する患者さんには大変ご不便をお掛けしております。もう少しお時間をください。

〈第119回〉

長岡院長にお話を聞きました

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

Q 急性期医療に特化した病院となりました。具体的にどのような変化がありましたか？

A 急性期とは病気になって（怪我をして）間もない時期や、病状が安定せず集中して治療が必要な時期のことをいいます。医師をはじめ他の職種の人数は微増に留まり、職員一人あたりの業務量は大幅に増えております。

今年4月から施行される医師の働き方改革と相まって地域の医療を守る使命と、働く人の健康を守る責務の間で、これまでよりも難しい対応が求められるようになりました。救急医療は365日24時間体制となり、当院が米沢地区ほぼ全ての救急車を引き受ける体制になりました。昨年12月からは米沢市平日

夜間・休日診療の機能が当院救急外来に移転し、米沢市医師会の先生方のご支援により一次救急（入院や手術を行わない場合）を担っていただいております。おかげで当院は二次、三次救急（紹介または救急搬送、緊急入院や手術を要する場合）に特化しやすくなり、限られたマンパワーで地域の医療ニーズに対応すべく努力しております。

Q 最後に何か市民の皆さまにお伝えしたいことはありますか？

A 市民の皆さまにおかれましては、当院職員一同限られた医療資源の中で、地域のより良い医療の提供に精一杯努力してまいりますので、特に夜間・休日の救急医療の適正な受診にご協力をいただけますと幸いです。